



関西国際空港、大阪国際空港にて地震津波防災訓練を実施

関西エアポート株式会社は、関西国際空港（KIX）及び大阪国際空港（ITAMI）において、地震津波防災訓練を実施することをお知らせします。

本訓練では、南海トラフ巨大地震が発生し、大阪府に大津波警報が発表された場合を想定して、ターミナルビル館外の避難場所への避難などを行います。これらの訓練を通して、関係機関と連携を図るとともに、空港従業員の防災意識向上を図り、地震津波発生時の適切な初動対応を確認することで、空港の安全運用の確保につなげます。

関西エアポート株式会社は、引き続きお客様の旅を支える安全の確保と、空港を安心してご利用いただく環境づくりを進めてまいります。

【関西国際空港】

- 日 時：2019年11月8日（金）15:00～16:30（小雨決行）
- 場 所：第1ターミナルビル、国際貨物地区、駅コンコース、ホテル日航会議室
- 参加機関：270 事業所・機関
- 訓練想定
地 震：和歌山県沖を震源地とするマグニチュード9.0の地震が平日（日中）に発生。
津 波：気象庁より、大阪府に「大津波警報」が発表、地震発生から81分後に、高さ2.6mの津波が到達。
- 訓練概要
①情報伝達訓練 ②地震避難訓練 ③津波避難訓練 ④滞留者ケア訓練 ⑤CIQ手続き訓練
⑥座学教育訓練

【大阪国際空港】

- 日 時：2019年11月6日（水）15:00～16:30（小雨決行）
- 場 所：ターミナル各所、モノレール駅下、北ターミナル4階「星の間」他
- 参加機関：76 事業所・機関
- 訓練想定：南海トラフ巨大地震（マグニチュード9.0）が平日（日中）に発生。
- 訓練概要
①シェイクアウト訓練 ②地震発生時の避難及び避難誘導訓練 ③消火器取扱い訓練
④負傷者担架搬送訓練 ⑤負傷者搬送訓練 ⑥煙体験訓練 ⑦滞留場所運営訓練



昨年度の KIX の訓練の様子



昨年度の ITAMI の訓練の様子

【本プレスリリースに関するお問い合わせ先】

関西エアポート株式会社
企画・管理部 コーポレート・コミュニケーションズ
Tel：072-455-2201

関西エアポート株式会社は、オリックス株式会社と VINCI Airports（ヴァンシ・エアポート）を中核とするコンソーシアムにより設立されました。関西国際空港（KIX）および大阪国際空港（ITAMI）の運営を新関西国際空港株式会社から引継ぎ、2016 年 4 月 1 日より両空港の運営会社として事業を開始しています。

また、2018 年 4 月 1 日からは関西エアポート株式会社の 100%出資会社である関西エアポート神戸株式会社が、神戸空港（KOBE）の運営を神戸市から引継ぎ、事業を開始しました。

“One 関西エアポートグループ”として、空港の安全とセキュリティを最優先に、適切な投資と効率的な運営によって国内外からの空港利用者へのサービスを強化してまいります。また、関西 3 空港の可能性を最大限に引き出し、地域コミュニティへの貢献につなげてまいります。

詳しくは、関西エアポートグループホームページ: www.kansai-airports.co.jp/ をご参照ください。

関西エアポート株式会社（関西国際空港および大阪国際空港の運営）

本社	大阪府泉佐野市泉州空港北 1 番地 大阪市西区西本町一丁目 4 番 1 号（登記上）	株主	オリックス 40%、 ヴァンシ・エアポート 40%、 その他の出資者 20% ¹
代表者	代表取締役社長 CEO 山谷 佳之 代表取締役副社長 Co-CEO ブノア・リュロ		
事業内容	関西国際空港および大阪国際空港の運営業務、管理受託業務等		

関西エアポート神戸株式会社（神戸空港の運営）

本社	兵庫県神戸市中央区神戸空港 1 番	株主	関西エアポート株式会社 100%
代表者	代表取締役社長 CEO 山谷 佳之 代表取締役副社長 Co-CEO ブノア・リュロ		
事業内容	神戸空港の運営、維持管理業務等		



オリックス株式会社について

オリックスは常に新しいビジネスを追求し、先進的な商品・サービスを提供する金融サービスグループです。

1964 年にリース事業からスタートして隣接分野に進出し、現在では融資、投資、生命保険、銀行、資産運用、自動車関連、不動産、環境エネルギー関連などへ事業を広げています。また、1971 年の香港進出を皮切りに世界 37 カ国・地域に拠点を設け、グローバルに展開しています。



世界有数の空港運営事業者であるヴァンシ・エアポートは、46 空港の開発・運営を行っています。同社の空港ネットワークを構成するフランス、ポルトガル、イギリス、スウェーデン、セルビア、カンボジア、日本、アメリカ合衆国、ドミニカ共和国、コスタリカ、チリ、そしてブラジルの空港には、合計で約 250 社の航空会社が就航し、2018 年の旅客者数は 2 億 4,000 万人にのびります。

ヴァンシ・エアポートは総合インテグレーターとしての専門知識を駆使し、空港の開発・資金調達・建設・運営に当たっています。またその投資力、国際ネットワーク、ノウハウを生かして、空港の運営と機能を最適化し、施設拡充や新規建設事業を行っています。

2018 年の連結売上高は 16 億ユーロ、グループ全体の売上高は 36 億ユーロ（関連会社含む）に達しました。

詳細は www.vinci-airports.com をご覧ください。

¹ 株式会社アシックス、岩谷産業株式会社、大阪瓦斯株式会社、株式会社大林組、オムロン株式会社、関西電力株式会社、近鉄グループホールディングス株式会社、京阪ホールディングス株式会社、サントリーホールディングス株式会社、株式会社 JTB、積水ハウス株式会社、ダイキン工業株式会社、大和ハウス工業株式会社、株式会社竹中工務店、南海電気鉄道株式会社、西日本電信電話株式会社、パナソニック株式会社、阪急阪神ホールディングス株式会社、レンゴー株式会社、株式会社池田泉州銀行、株式会社紀陽銀行、株式会社京都銀行、株式会社滋賀銀行、株式会社南都銀行、日本生命保険相互会社、株式会社みずほ銀行、三井住友信託銀行株式会社、株式会社三菱 U F J 銀行、株式会社りそな銀行、株式会社民間資金等活用事業推進機構